

ダーウィンコースへの招待状

将来、科学者になって研究がしてみたい！

「ジュニア科学者養成講座」ダーウィンコースでは、そんな小学生のみなさんに、科学の楽しさ、おもしろさ、身近さを伝え、科学への道案内をします。

みなさんは、科学者になるには、たくさん勉強して、プログラミングや数学などの能力を身につけて、いろんな問題が解けるようになる必要があると思いませんか？

たくさんの知識や能力は、もちろん科学の研究に役に立ちます。でも、もの知りで、いろいろな能力があっても、科学者になれるわけではありません。

科学者になるためには、**疑問を持つ力**を育てることが大切です。

進化論で有名なダーウィンは、イヌとネコが飼い主にあまえるときの姿勢がまったく正反対であることに気づき、どうしてこんなに違うのだろうという疑問を持ちました。



図のように、イヌはしっぽを垂らし、体をくねらせて、飼い主に甘えます。

ネコはしっぽを立てて、足をつっぱって飼い主に甘えます。

確かに、言われてみれば正反対ですね。このようなイヌやネコのしぐさを多くの人がなんども見えています。しかし、ダーウィンのように、どうして正反対なんだろうという疑問をもった人はほとんどいないでしょう。ダーウィンはこの疑問について考え、人間の感情の理解につながる、時代に先がけた研究をしました。このように、**身近にあるなぞに気づくことが、科学にとって大切な「発見」につながる**のです。

じつは、私たちの身のまわりには、科学がまだ解決できていないなぞがたくさんあります。

ダーウィンコースでは、このような身近ななぞに気づくチャンスを用意して、科学という「なぞを解く仕事」への道案内をしたいと考えています。

なぜだろう、どうしてだろうと、と考えるのが大好きな小学生のみなさんをお待ちしています。

この企画は、親子参加のプログラムです。保護者の方々にはぜひ、小学生と一緒に、なぜ、どうして、と考えてみてください。正解を学ぶのではなく、未解決のなぞを見つけて考える楽しさを、小学生と一緒に経験してください。

矢原 徹一